ŋ

三十二

内時盃 容間 蘭 盆

に ち

 \Box

七月十三日(日)

ご正前 5

法信十 話偈時 ~ 半 草 · 譜 六 正 首午 引 き

お 斎 へちらし 寿司)」 あり ŧ

*

内時物 容間故 者 追

物の案物ご正ご後法 皆内故法信家一 様さ者話偈族時 〜御半 草焼 譜香 5 六 午 首 後 引 Ξ き 時 頄

*

おたご別午 家途後 族ごの がせ追 対で悼象頂法 でき要 すまは た基 物本 故的 者に のは

り < ださって構 の 家族 61 ; ; ; 以 外

ち物 使 結 城 大 師 岡 崎 市 断下持 うで。 う う う う う の う う の 若手) 方

布

教

暑マ御お いス仏念のク前珠 では、 服各付徒装自に式 はのお章 平ご渡り て 構 いませ

どなたさまも、 どうぞお参り下さい



初 参 ഗ 式 会 の様 しし

定

例

法

座

ഗ

内



り毎6 入ま年月 学し恒1 祝た例日 の会」を行: 今年で七 う年で七 1 い初回時 ま参目 に

※開ど

8内催な

月田日た

2 正 3祥

日師

土重

 \subseteq

県

定

5 例

気 法

さ仏軽**座** まさに

もま聞

おのけ 参おる、

り話

 $O \mathcal{O}$

K会

☆

今年は、3人のお子様が式に参加してくださいました。これからの人生の大切なよりどころとなってくださる、「阿弥陀如来」様に、ともにごを投拶・小学校入学のご報告をさせて頂きました。
これからの人生の大切なよりがあるで、楽しい時間を過ごしてもらえたかと思います。お寺にとっても、こどものおけるで、楽しい時間を過ごしなんで、楽しい時間を過ごしなんで、楽しい時間を過ごしなんで、楽しい時間を過ごしてもらえたかと思います。お寺にとっても、こどものお子様・お孫様とご参加ください。

※

11藤

16師

(日) (日) 滋賀県)

滋

 \Box

月月月220澤 6月月信111年22日

4 1 4 ⊟ ⊟ ⊟

B 世 世 世



緣弥法三二十十七三

に亡回回忌忌

必おき忌忌

ず参人

さ切謝

で陀事十十七三回回周

す様は三五回回忌忌忌

年年年

ご阿ご

ご法 事 は



大切 な

おりの平平平平令令令 勤す命成成成成和和和 めるに5122元56 下大感年315年年年



いなし、寂寂寂寂寂寂寂





そお内午時 2 の勤容後間6420

そお内午時

法ら

話い

〜は 4ぃ

0の分う

程た

時~

午

後

 \equiv



緒 に 型 飾安 り城 かをつくってみてもまつりの 七 よう!

や安安 るれ世元く協元西っ城城み で機以代のり力商覚て七のな と生会外は商まの店寺き夕夏さ 下街でままのん つ風 り物 が詩年 も

のはす。 七振 夕祭りる のの

大

型型

の

飾

ŋ を

思安作そ親地つご地 まはの作店す 地り街 ま育な域飽に

こまりれ 育つ子ども達にとって、とても貴重でなかなかないのではないでしょうか。域の子どもたちは、安城七夕まつりの飽きているかもしれませんが、に住んでいる子どもや इं で大切 な

子 っさま、 子ども お孫さまとご一緒。 今年もぜひ、賑めもや親御さん合わ# こ一緒にごり賑やかにい合わせて、も | 参加くご 、ださ たんいの いと方 思がご ま参

安 城 七夕ま つ り の 大型飾 り をつくってみよう」

* * * 定時開 員間催 日 2 \Box (水)

時 5 名ほど 12時

予門徒会館 (ハの同伴は、ローロの名) (地下・空調設備あり) こども1人につき2名程

☆☆ つ物場で

☆ 安 会 へ 会へ持開 費持ち催 61 経 本 式 章 名札・スタンプカード

すご無るお西へこ午7の参料子念覚大と前月は珠寺人のもので、 、必ず事前にお寺へご予約くを希望される方は、昼食の支 支度もあり ださい。

* 一 飾 パニーノ』さんのサンドいを作り終わったあと、 さんのサンドウィッチをご用意します。 お昼ごはん



夏 休 み

西時ど こ も 達 ど |覚寺では今年もで、 も お寺で遊ぶる 夏そ のん ひな



寺子 屋

夏 休み 寺子屋を開催 Ū ます】

開

8 \Box 月

内午開 9時月日 時間1

5 1 · 2 時頃

迄

おいー

610 の練 うった。 む

の

大型

飾

り

約ス経持おちで親考無加未小象そおを楽あらお容前催8催 う昼考しそい勤 めごえんびはめ んはてで やんいも ます。

対 お に ごぎり

す。加

学生

料費就学 児以 は上 親 回 伴 な 5 可

• 備 • 参

す御 しさ h 送迎だー だけは緒 C て もも 011 ΚU

• 持 念物

度

ド名は 札

予

等をお知らせ、 なおりでででである。 なおりでででである。 ないででは、 ないででは、 ないででは、 ないででは、 ないでは、 ら連だと終さ くのる 方は、 にさ い 人 。 数 お

 \odot

0 5 6

6

7

6

http://saikakuji.sakura.ne.jp/wp/

 ∇ お 盆 の お 参 ŋ に つ Ŋ て

Δ

ら毎 せ年お 一のこと させ て 頂 での き すお まが、参れ ŋ 改に めっ てい お て、 知

日 1 す時せ間 の間て間望 < 5 だ でが頂にの日 さ きつおの 決 まい日間 改ま め っす。 てに てて はち

こは

くすさ城こ8 ださ のせ市の月 城だ宅を 内日重は のに人の大人の方し、 は てに前 おおか り参ら 遠

慮まり安

しせ住る しょう。せひお参りさせて頂き住まいのご家族だけでも構いる大切な機会です。お近くにお盆は立き方を偲びお参り いにり き まおす

*

いをか から暑くなりませ私(住職)は汗ベ追伸 お茶」がありがたかくような日柄の す。汗か いです。 い時は、 暑いと きです。 す。 き、 冷 こ た汗れ



土 真宗本 願 寺 派

安城 市 朝 日 町 1 2 8